



早稲田大学情報生産システム研究センター(鎌田研究室)
〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの 2-7
TEL 093-692-5396, FAX 093-692-5021

プレスリリース

2009年7月発信

関係者各位

調剤過誤防止装置について

～文部科学省 知的クラスタ創成事業（第Ⅱ期）
「高速パターンマッチング回路の合成とその応用に関する研究開発」の成果～

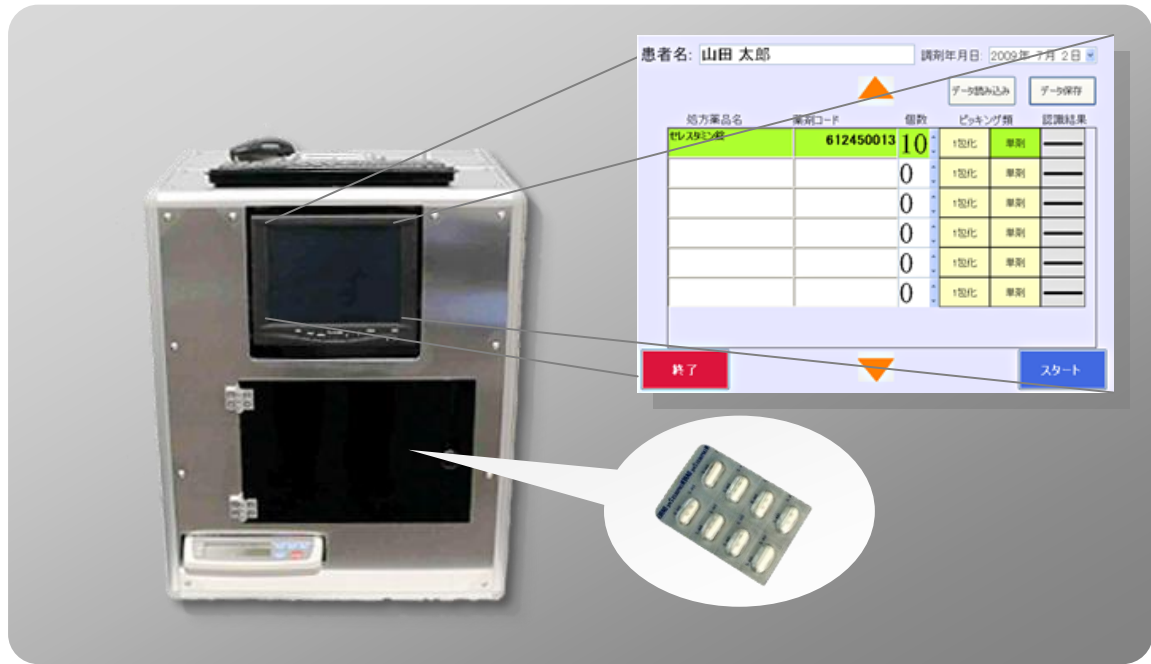
早稲田大学大学院情報生産システム研究科 鎌田清一郎教授は、2009年7月11日（土）、12日（日）国立京都国際会館（〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池）で開催の医療薬学フォーラム 2009 第17回クリニカルファーマシーシンポジウムにおいてポスター発表（1日目 9:00～17:00、2日目 9:00～15:30）にて「画像処理を利用した過誤防止システム－高精度パターン認識による過誤防止装置の開発－」を発表いたします。なお、本研究は、文部科学省知的クラスタ創成事業（第Ⅱ期）「高速パターンマッチング回路の合成とその応用に関する研究開発」による、グリーンファーマシー株式会社および徳島文理大学薬学部・医療薬学講座 庄野文章教授との共同研究です。

本研究開発の概要

薬剤師は調剤の最終段階である監査を正確に行うことは、労力を費やすと同時に監査漏れの不安に苛まれることもある。このような薬剤過誤に関する薬剤師への心理的負担を軽減するため、処方箋情報と実際に調剤した薬剤との種類・数量の相違（ミス）を防止する調剤過誤防止装置を製品化しました。本装置は、調剤の多い錠剤を対象とし、小型で卓上にも設置可能な装置で、複数のカメラを利用して錠剤等を高精度かつ高速に認識し、処方箋情報との合致を判定、表示します。判定は単一種類の錠剤（PTP錠）はもちろんのこと、従来は認識が困難であった複数種類の錠剤を一包装した場合でも対応可能です。

システム概要

1. 入力データとしては処方箋のQRコード情報あるいは手入力情報（薬剤コード、薬剤名、個数等）です。この情報に対して、複数のカメラを利用して処方したPTPシート上の薬剤の2、3次元形状、色、重さなどの情報を取得し、高精度かつ高速に認識した結果が合致しているかを判定する。
2. 出力データとしては、画像処理により認識した錠剤情報と処方箋情報との突合結果がディスプレイ上に表示される。調剤薬の画像そのものを履歴として残すことができるので、薬剤名あるいは患者名から、その履歴を検索して画像表示し、特定の患者の調剤監査記録を確認できる



<本件に関するお問い合わせ>

早稲田大学情報生産システム研究センター 産学連携プロジェクト担当・近谷
(ちかたに) までお願い申し上げます。

〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの 2-7

早稲田大学情報生産システム研究センター

TEL 093-692-5396, FAX 093-692-5021

E-mail: kouhou-office@list.waseda.jp